

# 1 市民、事業者、NPOと市の協働による計画推進

## (1) 各部会の活動報告

### 平成23年度社会環境部会活動報告

部会長 田中成郎

#### 1 部会での活動

昨年度に引き続き「大気・降下ばいじん」が東海市最大の問題であるということ  
で委員の認識は一致しましたが、市民・行政・事業者の協働で取り組むことが難し  
いため、今年度も「水質」を中心として活動することにいたしました。

20年度から実施している河川・ため池水質浄化事業を継続し、環境浄化微生物  
の公共施設での使用や市民への無料配布により、河川等の水質浄化を目指しました。

また、24年度から環境基本計画後期計画が始まるにあたり、指標の見直しなど  
を行いました。

#### 2 河川・ため池水質浄化事業の主な活動内容

##### ① 水質調査

単位：mg/ℓ（pH除く）

	年度	pH	DO	BOD	COD	SS	T-N	T-P
上野	21	6.9	4.3	6.3	9.2	21	6.5	0.35
	22	6.8	5.6	7.7	8.3	26	7.8	0.38
新川	23	7.1	4.9	4.7	8.3	12	7.7	0.46
新池	21	9.1	14	37	50	71	5.5	0.57
	22	7.5	12	10	33	49	3.0	0.34
	23	8.2	12	7	26	66	2.6	0.29

※BODの環境基準 10以下（E類型）

##### ② 水生生物調査（上野新川）

年度	1回目 (4月)	2回目 (6月)	3回目 (8月)	4回目 (10月)
21	28種類	19種類	26種類	24種類
22	22種類	19種類	22種類	17種類
23	20種類	18種類	17種類	23種類

##### ③ 環境浄化微生物の無料配布（690本/月）

##### ④ 環境浄化微生物を公共施設において使用（310本/月）



### 市役所での環境浄化微生物配布の様子

希釈して流し、便器の水溜まり等に入れるとぬめりが軽減されます。

配布：市役所・しあわせ村・文化センター（原則 毎月1日、15日）

### 3 調査結果の考察と今後の課題

上野新川の水質は改善傾向にありますが、環境浄化微生物の効果であるかどうかの評価や検証は難しく、この件に関しましては、調査を継続し、経過を見守っていきたいと考えております。また、河川の水質改善以外に、大気・降下ばいじん、騒音・振動・悪臭等の改善事業にも取り組んでまいります。

これらのテーマは、知識・認識を市民・行政・事業者が共有し、協働が可能な環境を整えることを主眼に進めてまいりたいと考えており、東海市エコスクールでその目的に合った講座の開催を検討してまいります。なお、講座の内容、企業等の協力体制などの具体策につきましては24年度以降に検討してまいります。

市民・団体・行政・事業者が協働して様々な分野で環境改善に取り組んでいくことは、とても有意義なことであり、部会活動を通じてこれまでとは違った分野の方々とのネットワークが広がったことが貴重な財産となりました。今後も一体となって取り組んでまいります。